令和４年度　日本大学スポーツ科学部　個人研究費　研究実績報告書

所属： スポーツ科学部　競技スポーツ学科
資格： 教授
氏名： 大嶋　康弘

研究課題名	国内外スポーツ組織経営における組織構成、人事施策と組織慣習に関する研究
研究目的及び研究概要	我が国では2011年にスポーツ基本法が施行され、アマチュアスポーツ団体等の経営力の強化とガバナンスの向上が課題として示されている。国内外に存在するスポーツ団体の運営・経営には多くの場合、そのスポーツの経験者が関わり、組織運営や経営の経験には拘らず組織上の重職を担う人事が多く見受けられる。それは役職階層以上に人間関係のヒエラルキーを発生させ、ガバナンスの不足、コンプライアンス違反を発生させる一因にもなり、スポーツ団体の健全な発展、経営を妨げている要因の一つであるともいえる。 　一方、日本国内には100年以上の業歴がある同族経営の企業(ファミリービジネス)が30,000社以上存在しており、それら「ファミリー企業」は、能動的あるいは受動的に経営方針を変化、発展させながら同族企業としてのコンプライアンス違反等の問題を克服しながらも代々事業承継し健全な経営を継続している。 　本研究の目的は、スポーツ団体とファミリー企業では人事構成に「同族の関わり」という共通する特徴があると仮定し、それぞれの経営を比較し、ファミリー企業の経営施策からスポーツ団体経営施策としてアダプト可能な事項を探求し、健全なスポーツ組織の運営への提言としたい。
研究実績の概要 研究の進捗状況・得られた成果・今後の課題・研究実績等	残念ながら、新型コロナウィルスの影響もあったが、東京オリパラの一連の談合疑惑に関連し、予定していた企業、スポーツ組織へのインタビュー調査が滞ってしまった。 　従って本年度の個人研究の計画、スケジュールを大幅に変更をせざるを得ず、資料の取りまとめのみに留まってしまった。しかしながら、この研究テーマに関しては来年度の研究誌掲載に向け、引き続き個別に研究を継続をしてゆく。